

## 〈5〉 休憩指導計画

### (1) ねらい

- ・自分たちで体を動かして遊ぶ楽しさを知る。
- ・休憩時間を楽しく、有効に過ごすことができる。

### (2) 指導時間

- ・長休憩 10:25~10:45
- ・昼休憩 12:50~13:10

### (3) 指導の体制

- ・朝の生徒管理当番、他随時 計2名以上  
(随時、グラウンド、体育館を分担して指導する。)

### (4) 内容

- ・簡単で、自分たちでできるような遊び、スポーツ  
ex ビーチバレーボール、卓球、バトミントン、  
サッカー、なわとび、ジョギング、リズム体操  
ほか

### (5) 方針と手だて

- ・できるだけ生徒のやりたいものを自由にやらせるが、やり方がわからないものについてはアドバイスをする。
- ・はじめは教師が積極的に中に入ってやり、少しずつ自分たちでできる方向に導いていく。
- ・自分たちがやろうと思うような環境を設定し、(ボール、とびなわ、竹馬、バトミントンラケット、羽根等)すぐにもできるような状態にしておく。
- ・生徒会と連携し、積極的に呼びかけさせて意欲付ける。

### (6) 生徒の様子とまとめ

指導者の声かけによってかなり多くの生徒が休憩時間にグラウンドや体育館に出ていくようになった。その様子は以下のとおりである。

- 1 自分で自転車に乗る、ボールで遊ぶなど決めて遊ぶ生徒。
- 2 他の生徒に声をかけられ、同じことをして遊ぶ生徒。
- 3 他の生徒たちをただ見ているだけの生徒。
- 4 まだグラウンドや体育館に出ようとしなない生徒。

今のところ4の生徒が少なくなりつつあるという段階である。休憩時間に運動することだけが素晴らしいことであるとは考えていないが、今後多くの生徒が元気に校内を走り回っているような休憩時間にしていきたいと考えている。